



# 命のコール 通信

第10号

## 森羅万象に感応する日本人の精神性

NPO法人日本サイコロジスト協会『命のコール』共同代表 杉山 均、平井 薫

鳥たちの楽しいおしゃべりに心踊る季節となりました。皆様如何お過ごしでしょうか。

元・東京医科歯科大学教授の角田忠信氏の日本人の脳についての研究によると、虫の声のような自然界の音の場合では、西洋人などが右脳においてノイズ的な「音」として聞く一方で、日本人は左脳で会話のような「声」として聞いているそうです。森羅万象に感応しやすい日本人の繊細な感性は、本来、洞察力に優れ、人の心の声にも最も感応しやすい脳力を備えているのだと感じます。にも関わらず、自分と他人の心のSOSに鈍感になってしまった現状を、もうそろそろ転換させる時が来たのではないのでしょうか。



先月、子どもたちからの命のSOSにより、「ライオンの隠れ家」として挑戦したクラウドファンディングは、おかげさまで、全国100名以上のかたたちから温かいご賛同とご支援をいただき、何とか目標を達成することができました。ご縁をいただいたすべての方の善意の賜物と、心より感謝申し上げます。

他人事を自分事と捉えて下さった皆様のエネルギーに背中を押され、先月からカウンセリング付きの子ども食堂もスタートし、さらに生きる喜び溢れる日本社会への原動力にさせていただきます。今後とも応援よろしくお願い致します。



### ～全国から届いた応援メッセージ（一部）～

●日本社会の見えない大きく深刻な問題のひとつだと思います。一人でも多くの方に希望をつなぐ活動をされている皆さまに心よりの敬意を表します。誰もが明日に怯えずあたたかな気持ちの中で暮らしてゆける社会がきっとくと信じております。支援の継続と人々のつながりから生まれる幸福の連鎖と循環を心より祈念致しております。（F・Kさん）●現在の日本社会は女性や子供たち障害のある人など、弱い立場の人たちにとっても冷たいと思います。彼らを救うのは本来なら国のやるべきことですが、現状では待っていても改善されるとは思えず、民間人の誰かがやらなければならない状態だと思っていました。こうした援助活動をされていることに、とても感動しました。（K・Sさん）●私自身も子どもと共に困窮したことがあります。引き離される恐怖がありました。また実際助けてもらえる仕組みは存在しませんでした。わずかですが応援します。（N・Nさん）●子どもたちが生まれて来てよかったと思える世の中にしたいですね。（Aさん）他

## ご支援 ありがとうございます！

たくさんの皆様にご賛同、ご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。【個人】河合良明様、岩下清伸様、加賀夏子様、豊福真基様、小林泰夫様、山本健策様、荒川和夫様、田畑和紀様、内藤和己様、大久保峯夫様、大門正幸様、岩城富夫様、前田京子様、迫恭一郎様、国島貴美恵様、伊藤優子様、三富雪美様、磯村道代様、杉浦淳子様、高田雅之様、山田克己様、大西久仁様、上田祐之様、宮澤敏夫様、豊田英二様、岩砂直子様、尾上玉恵様、石原均様、荒木由起子様、後田さやか様、矢井清和様、江崎忠男様、武田由美様、和出真由美様、飯島敬一様、鈴木久仁子様、古米良行様、西村万寿美様、平川浩之様、吉崎裕一様、境田剛幸様、加藤あや子様、高井孝訓様、奥田典子様、佐々木啓様、谷口幸子様、坂本順一様、土屋美佳様、米良薫様、岩田雄治様、石原みち様、雷慇孝希様、千葉謙一郎様、松本恩様、菊池亜紀子様、中川香織様、青木高広様、木村睦子様、上田ふみよ様、藤田十代様、岩川智恵子様、鈴木朋子様、神崎靖宏様、林史華様、今野美帆様、斎藤淑子様、西田有輝様、上野健様、菊池珠未様、渡辺美智子様、藤崎ひとみ様、富井治香様、峠昌尚様、千葉格様、丸武志様、野口尚弘様、森島理央様、中川弓子様、石部雄紀様、佐々佳広様、吉元里志様、田中毅様、太田美奈子様、他【団体】河合歯科医院、ワールド極真会空手連名、アルカダイアモンド株式会社、インディゴン株式会社、レンゲの里岐阜、みんなの広場、アナスタシア・ジャパン、株式会社新、森の種、株式会社農トレ様、株式会社フクロージュTABATA様、他

## 命を最優先にする社会への大転換を！

行き詰まった経済社会、混沌とした国際情勢に加えて、日本の格差が広がり、子どもを犠牲にした貧困が増加しています。経済社会を優先するために地球を搾取続けてきた結果、異常気象の気候変動が人類が地球に存在出来なくなります。99%以上の科学者が「気候変動の原因は人間である」と認識。食糧輸入が途絶した場合、1年後には3000万人が餓死すると1978年に試算されています。（「NHK特集 輸入食糧ゼロの日」1978年）今は、昭和50年頃の穀物自給率（40%）より10%以上悪化し、26%になっています。もし、今、食糧輸入が途絶した場合にはそれ以上の餓死者が出ることになるのです。

### ■できることから始めよう

- 1、まず食べる量を（例えば一割）減らしましょう！
- 2、無駄な買い物、肉食、食べ残しを減らしましょう！
- 3、国産品、無農薬の農作物を選びましょう！
- 4、輸入品や季節はずれの食品（ハウスの果物、野菜など）はさけましょう！



日本の食品の半分以上は、世界から輸入したものです。私たちは年間 5500万トンの食糧を輸入しながら、1800万トンも捨てています。食糧の廃棄率では世界一の消費大国アメリカを上回り、廃棄量は世界の食料援助総量470万トン(WFP)をはるかに上回り、3000万人分（途上国の5000万人分）の年間食料に匹敵しています。（農林水産省「食料需給表」、厚生省「国民栄養調査」を元に算出）日本の食品廃棄の実に半分以上にあたる1000万トンが家庭から捨てられています。日本ほど大量に食糧を輸入しながら、廃棄を続けている国はないのです。今、目の前で悲鳴をあげている人たちへのサポートは当然として、自殺者を生み出さない社会、国創りへの明確な意思と希望を持って、力強く前進していきます。

杉山 均

発行元：NPO法人日本サイコロジスト協会（命のコール）

〒502-0801 岐阜市椿洞318番地 古民家 椿の宿 TEL:058-231-3651

杉山 090-9945-7584/平井 080-3687-7584/E-mail:kaoruh943@gmail.com/URL : j-psychologist.jimdo.com